

Ⅱ 富山県の栽培漁業

1 富山県の栽培漁業の推進体制

(1) 氷見栽培漁業センター

(2) 滑川栽培漁業センター

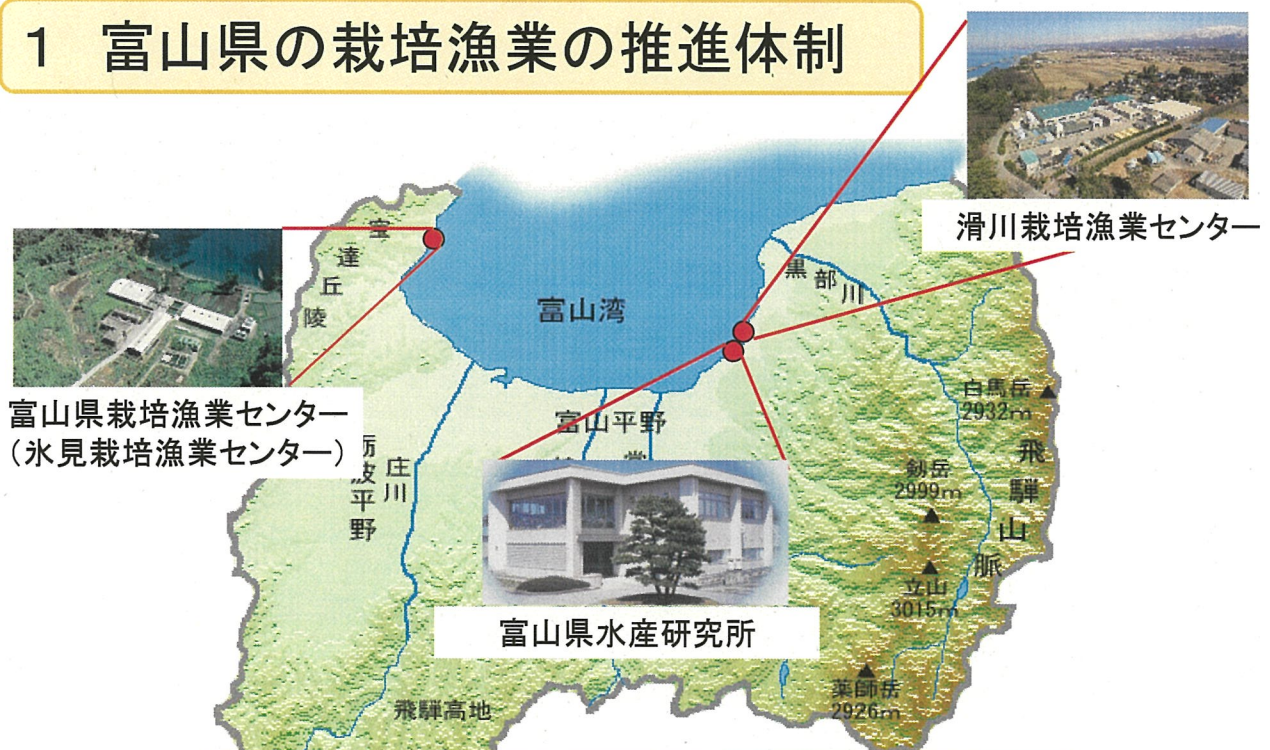
2 富山県における栽培漁業対象種

3 富山県における種苗放流の流れ

4 富山県水産振興計画における栽培漁業の位置付け

1

1 富山県の栽培漁業の推進体制



- ・水産研究所で栽培漁業の技術開発
- ・2つの栽培漁業センターで種苗生産
- ・沿岸市町、漁協等が各地先で放流

2

(1) 氷見栽培漁業センター

- 所在地： 氷見市姿
- 稼動年： S53年
- 設置者： 富山県
(富山県農林水産公社に運営委託)
- 対象魚種： クロダイ (17万尾)
(H30生産実績) クルマエビ(989万尾)
- 人員： 3名 ● 所長(県派遣)
○ 職員2名(公社職員)
- 業務内容： ● 管理運営
○ クロダイ種苗生産、
親魚養成、餌料培養
○ クルマエビ種苗生産 など
- 運営財源： 県費(一般財源)
- 運営形態： 県が公社に委託



老朽化した施設の屋根

老朽化への対応が課題

3

(2) 滑川栽培漁業センター

- 所在地： 滑川市高塚
- 稼動年： S62年
- 設置者： (公益社団法人)
富山県農林水産公社
(旧 財団法人富山県沿岸漁業振興公社)
- 対象魚種： ヒラメ (24万尾)
(H30生産実績) アワビ (9万尾)
- 人員： 4名 ● 所長(公社職員)
○ 職員3名(公社職員)
- 業務内容： ● 管理運営
○ アワビ種苗生産、親貝養成
○ ヒラメ種苗生産、親魚養成
○ 餌料培養 など
- 運営財源： 基金運用益+県補助金
- 運営形態： 公社事業



H24に新しく
ヒラメ種苗生産
施設を整備

4

2 富山県における栽培漁業対象種

現在の栽培漁業対象種

ヒラメ



15~30万尾

エゾアワビ



8~10万個

クロダイ



10~20万尾

クルマエビ



60~100万尾

生産休止中の魚種

マダイ



市場魚貝類図鑑より

種苗が広域に
移動するため
H17まで

サザエ



市場魚貝類図鑑より

市場での単価が
安価なため
H18まで

生産技術を開発したが 事業化に至らなかった魚種

マゴチ



市場魚貝類図鑑より

ハタハタ



市場魚貝類図鑑より

ガザミ



市場魚貝類図鑑より

マダラ



市場魚貝類図鑑より

トヤマエビ



市場魚貝類図鑑より

3 富山県における種苗放流の流れ

富山県栽培漁業基本計画(現在第7次計画H29-33)の生産目標を基に

毎年県内の市町、漁協等の要望を
受けて栽培センターで生産

水産漁港課で
要望を事前に収集



栽培センターで生産し、
要望先に配付

公社が生産・輸送



購入した市町、漁協等が
各地先に放流

水産研究所や公社
が放流指導



種苗代金の請求

水産漁港課、公社から
市町、漁協等に請求

4 富山県水産業振興計画における栽培漁業の位置付け (H31.3策定)

第3章 推進施策 (1)持続可能な漁業の推進 イ つくり育てる漁業の推進

[展開の方向]

沿岸漁業の重要な漁獲対象魚種の資源を積極的に増大させるため、稚魚の生産・放流を継続し、正確な放流効果の把握に努めるとともに、その結果に基づいて対象魚種や事業内容の重点化を進め、より効果的な栽培漁業を推進します。

また、漁業者からの要望が強いキジハタ、アカムツ等の新たな栽培漁業対象種の技術開発を進めます。

さらに、サクラマスや海藻類などの海面養殖を推進します。

○ 参考指標

	現況 2016年(H28)	目標値 2026年(R8)
栽培漁業対象種の産出額 (税抜き)	187百万円	206百万円

10%アップ